

eastspring
investments

A Prudential plc (UK) company



イーストスプリング インド投資マンスリー

2022年10月号

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。

最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

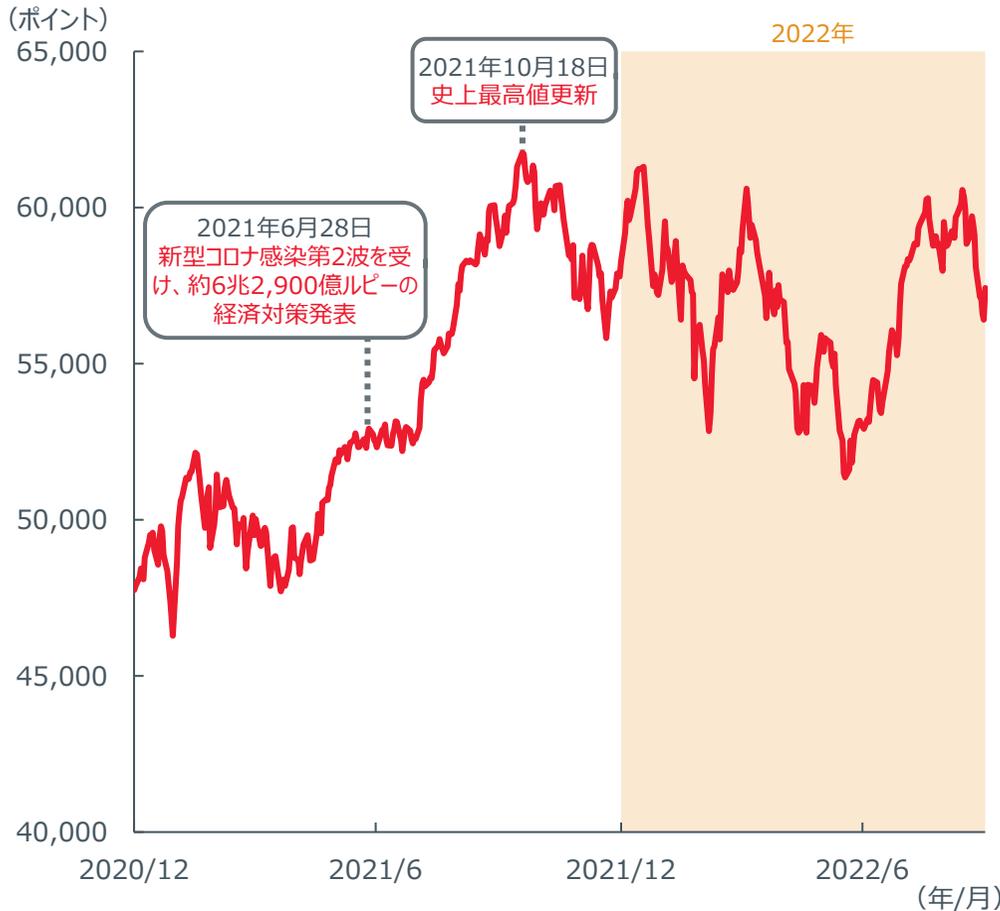
この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インド投資マンスリー
動画配信中！



株式：世界の主要株式市場が下落する中、インド株式も下落

SENSEX指数の推移 (2020年12月末～2022年9月末、日次)



2022年9月の振り返り

インド株式 (SENSEX指数) は、2022年4-6月期のGDP (国内総生産) 成長率が前年同期比+13.5%となり市場予想 (+15.2%) を下回ったことや、石油精製品や鉄鋼など主要産業の8月の生産高が低調だったことなどを背景に3.5%の下落となりました。

また、世界的に株価が軟調なことや、海外機関投資家が売り越しに転じたことも重しとなりました。

セクター別では、コミュニケーション・サービス、ヘルスケア、生活必需品を除くすべてのセクターが下落し、特に、エネルギー、公益事業、情報技術の下げが目立ちました。

年初来の騰落率 (米ドルベース) では、MSCIエマージング (-28.9%)、MSCIワールド (-26.4%)、MSCI欧州 (-30.6%) と比較し、MSCIインド (-10.2%) は大幅にアウトパフォームしています。

規模別指数の期間別騰落率 (2022年9月末時点)

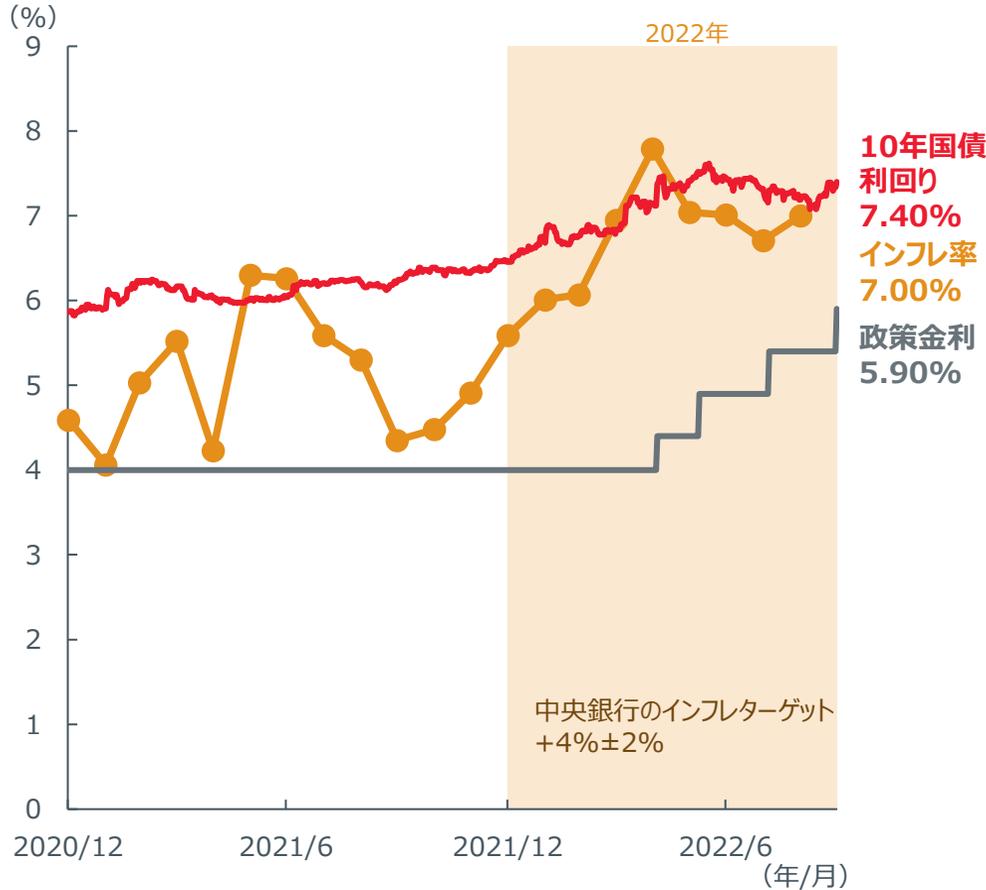
	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	-3.5%	8.3%	-1.9%
中型株 (BSE中型株指数)	-2.2%	14.5%	3.1%
小型株 (BSE小型株指数)	-0.7%	14.8%	0.8%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。

債券：インフレ率、利回りは上昇、4会合連続で利上げ

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(2020年12月末～2022年9月末、日次)



2022年9月の振り返り

10年国債利回りは上昇（価格は低下）し、7.40%で月を終えました。社債利回りも同様に上昇し、7.82%となりました。

インド準備銀行（RBI、中央銀行）は9月30日に金融政策決定会合を開催し、政策金利（レポ金利）を0.50%引き上げ、5.90%としました。今年に入り4会合連続の利上げとなりました。8月の消費者物価指数（インフレ率）は前年同月比で+7.00%となり、RBIが目標の上限とする6%を上回る状況が続いています。RBIは声明文の中で「インフレの見通しは依然厳しい」としながらも、引き続きインフレ抑制を優先するスタンスを明確にしており、こうした措置が「インド経済の中長期的な見通しを支援する」としています。なお、2022年度のインフレ見通しは前回の6.70%のまま据え置かれました。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2022年9月末	2022年8月末	変化幅
10年国債利回り	7.40%	7.19%	0.21%
10年社債利回り***	7.82%	7.60%	0.22%
利回り差	0.42%	0.41%	0.01%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レポ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2022年8月まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA Year Corporateの利回りを使用。

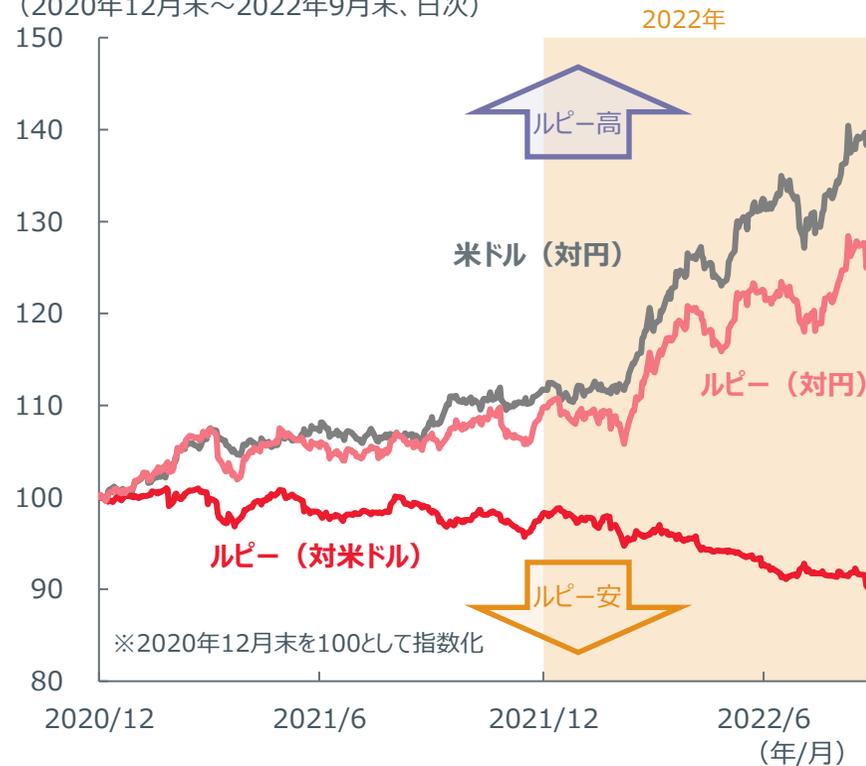
利回り差等については四捨五入の関係で数値間で整合しない場合があります。

為替：ルピーは対米ドルで下落、対円では上昇

- 9月のルピーは、対米ドルで2.3%の下落、対円では1.8%の上昇となりました。対米ドルでは9月下旬に最安値を更新するなど、安値圏で推移しています。
- 一方、2020年以降のルピーの動きをみると、他の新興国通貨と比べて対米ドルで相対的に安定した推移となっています。

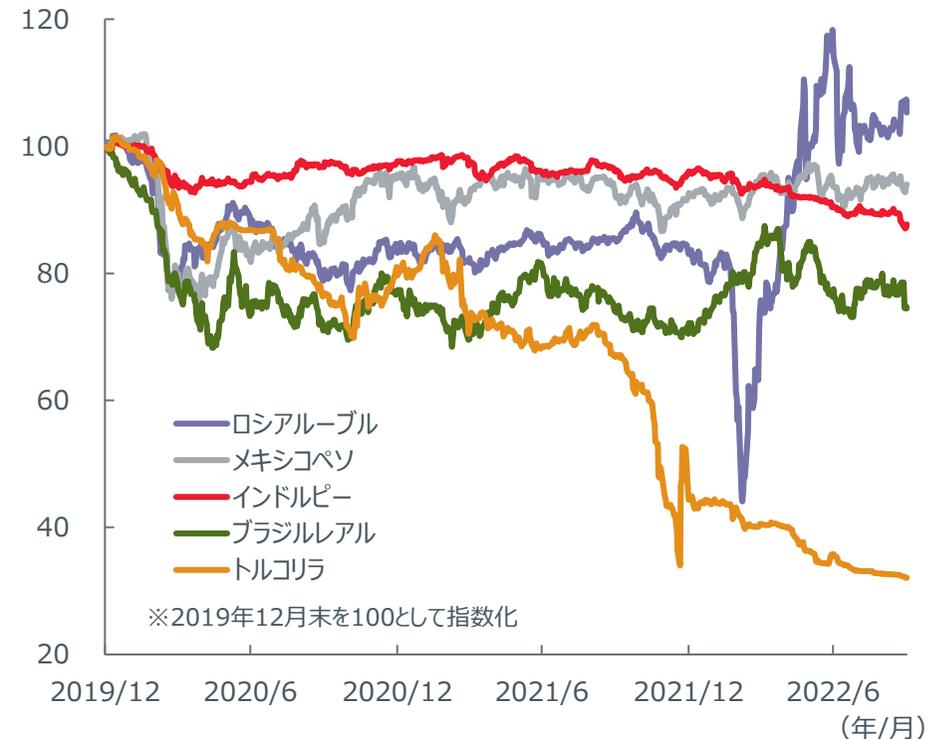
ルピー（対米ドル、対円）の推移

（2020年12月末～2022年9月末、日次）



主要新興国通貨（対米ドル）の推移

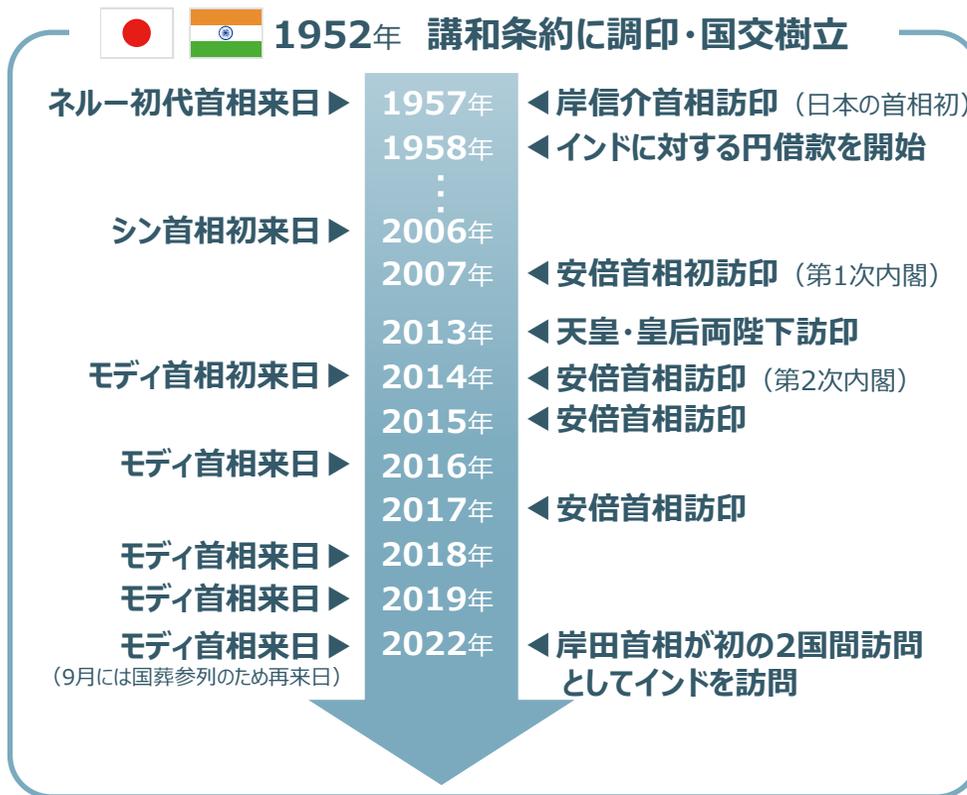
（2019年12月末～2022年9月末、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

日印国交樹立70周年 ～両国間の関係性はより重要なものに～

- 2022年は**日印国交樹立70周年**の記念の年です。中国の台頭などで日本とインドの関係性は近年より重要なものになっています。特に日米豪印の4カ国で構成される多国間枠組みであるQuad（クアッド）では、首脳や外相による安全保障や経済を協議する会合が定期的に開催される等、連携を強めています。



出所：内閣府、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。（首脳訪印、来日は抜粋）

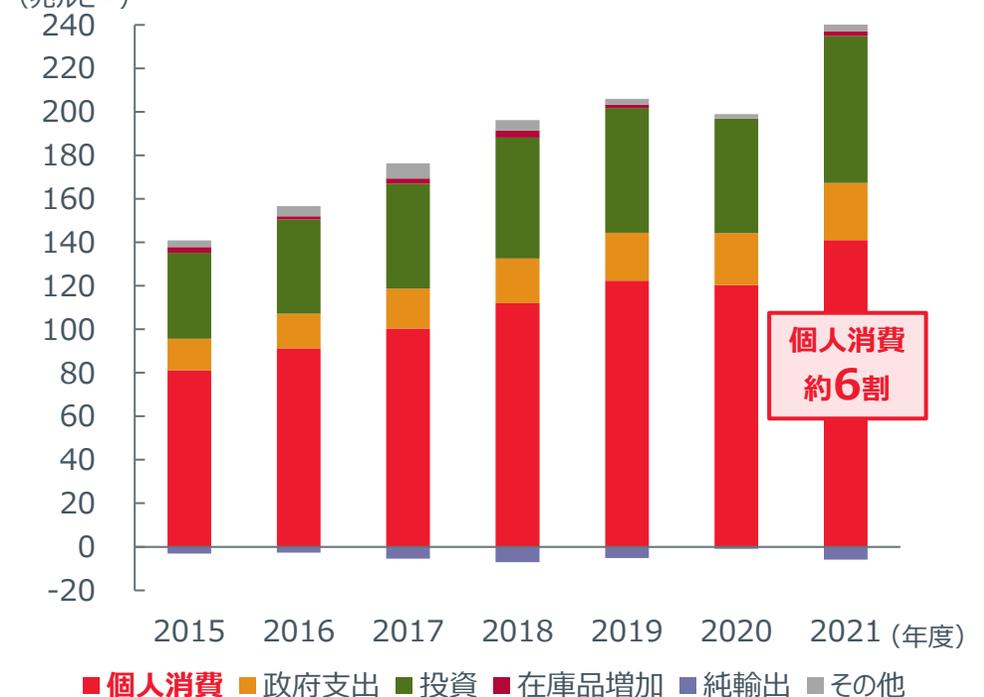
インドの経済規模は、英国を抜き世界5位に

- IMFの公表データによると、2021年10-12月期の名目GDP（米ドルベース）で、**インドは英国を抜き世界5位**になりました。さらに、2022年1-3月期、4-6月期は英国に対するリードを広げています。また、2027年にはドイツも抜き、**世界4位**になると予想されています。
- 名目GDPの内訳をみると、**個人消費が約6割**を占めており、**インド経済の主力エンジン**となっています。今後も消費を中心とした内需の拡大がインド経済をけん引すると期待されます。

名目GDPランキング（米ドルベース）

	2011年	2021年	2022年 (予想)	2027年 (予想)
1	米国	米国	米国	米国
2	中国	中国	中国	中国
3	日本	日本	日本	日本
4	ドイツ	ドイツ	ドイツ	インド
5	フランス	英国	インド	ドイツ
6	英国	インド	英国	英国
7	ブラジル	フランス	フランス	フランス
8	イタリア	イタリア	カナダ	カナダ
9	ロシア	カナダ	イタリア	イタリア
10	インド	韓国	ブラジル	ブラジル

インドの名目GDPとその内訳（2015年度～2021年度）



出所：IMF世界経済見通しデータベース（2022年4月）、インド準備銀行（RBI）のデータに基づきイーストスプリング・インベスメンツ作成。
 ※インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例えば2021年度は2021年4月～2022年3月。

フェスティバル・シーズン到来、「ガネーシャ祭り」は大賑わいに

- ◆ 8月末から9月初旬にかけて、ヒンドゥー教のお祭り「ガネーシャ祭り」が開催されました。ガネーシャ祭りは、ゾウの頭と人間の体を持つヒンドゥー教の神様「ガネーシャ」に厄除けを祈願するものです。去年は新型コロナウイルスへの警戒感から控えめの祝祭となっていたものの、**今年は大賑わい**となりました。
- ◆ 10月下旬からはヒンドゥー教の新年を祝うインド最大のお祭り「ディワリ」が始まります。ディワリシーズンに買い物をするのが縁起が良いとされ、家電や自動車などの高価格な耐久消費財を中心に**年間で最も消費熱が高まる**ため、**企業業績への好影響が期待**されます。



インド最大の商業都市ムンバイ各地で行われた「ガネーシャ祭り」の様子



▲Parel (パレル) 周辺



▲Lalbaug (ラルバグ) 周辺



▲Dadar (ダダール) 周辺

インドでは、赤は人類への愛と平和の象徴とされており、宗教的なお祭り際には赤色をスプレーするのが文化となっているそうです。

出所：ICICIAM、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

※ MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※ 業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています。GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにあります。